

平成30年（2018）3月 入域観光客数概況

3月の観光客数は、83万7,400人
 対前年（H29）同月比 +5万8,900人、+7.6%
 ～3月の過去最高更新、各月の過去最高を53ヶ月連続更新～
 ～年度は957万9,900人で5年連続過去最高～

入域状況

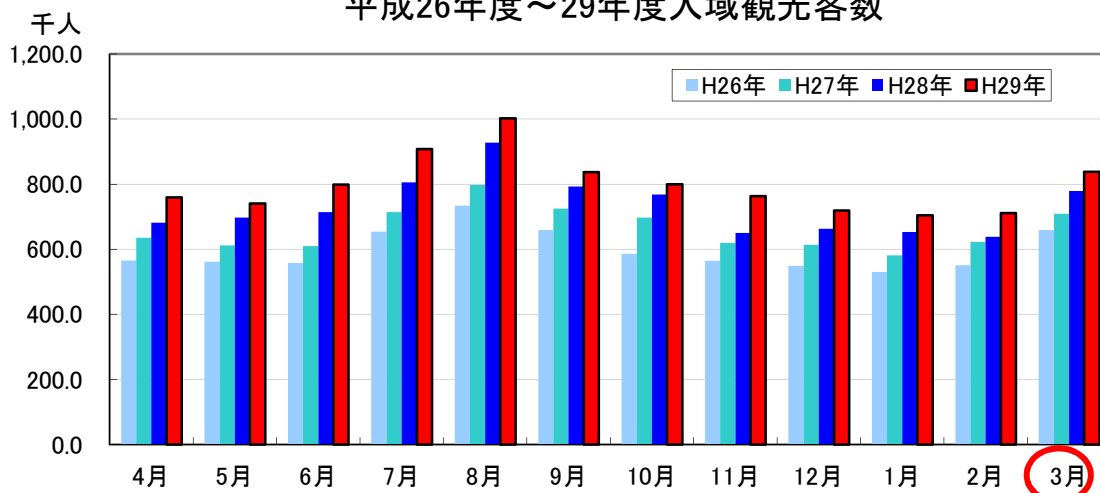
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	627,100 人	620,100 人	+ 7,000人	+ 1.1%	74.9%
外国客	210,300 人	158,400 人	+ 51,900人	+ 32.8%	25.1%
合計	837,400 人	778,500 人	+ 58,900人	+ 7.6%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	627,100 人	620,100 人	+ 7,000人	+ 1.1%	76.9%
外国客	188,000 人	145,100 人	+ 42,900人	+ 29.6%	23.1%
合計	815,100 人	765,200 人	+ 49,900人	+ 6.5%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

3月は、春休みの旅行需要があり、各航空会社において離島路線を中心に入込が良好であったこと等から前年を上回った。

4月は、麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響が懸念されるものの、各航空会社の予約状況が良好なことや夏季運航期間において航空路線の拡充による提供座席数の増加が見込まれることから、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

3月は、航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港回数が前年同月比で増加したこと等から前年を上回った。

4月は、麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響が懸念されるものの、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であることや、夏季運行期間において航空路線の拡充が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	298,100 人	301,500 人	△ 3,400人	△ 1.1%	47.5%
関西方面	131,500 人	126,900 人	+ 4,600人	+ 3.6%	21.0%
福岡方面	79,600 人	79,600 人	0人	0.0%	12.7%
名古屋	51,700 人	52,700 人	△ 1,000人	△ 1.9%	8.2%
その他	66,200 人	59,400 人	+ 6,800人	+ 11.4%	10.6%
合計	627,100 人	620,100 人	+ 7,000人	+ 1.1%	100.0%

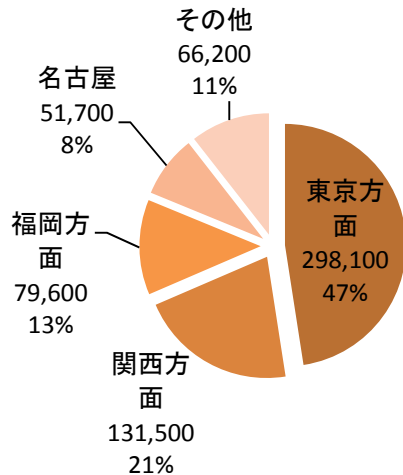
※国内海路客2,400人を含む(鹿児島2,200人、その他200人)

外国客 国籍別入域状況

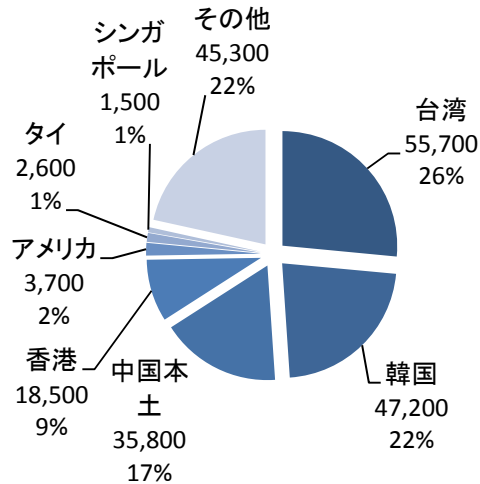
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	55,700 人	55,700 人	49,900 人	+ 5,800人	+11.6%	26.5%
韓国	47,200 人	47,200 人	38,100 人	+ 9,100人	+23.9%	22.4%
中国本土	35,800 人	35,800 人	25,300 人	+ 10,500人	+41.5%	17.0%
香港	18,500 人	18,500 人	16,800 人	+ 1,700人	+10.1%	8.8%
アメリカ	3,700 人	3,700 人	2,200 人	+ 1,500人	+68.2%	1.8%
タイ	2,600 人	2,600 人	3,200 人	△ 600人	△18.8%	1.2%
シンガポール	1,500 人	1,500 人	700 人	+ 800人	+114.3%	0.7%
その他	45,300 人	23,000 人	22,200 人	+ 23,100人	+104.1%	21.5%
合計	210,300 人	188,000 人	158,400 人	+ 51,900人	+32.8%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	47,500 人	47,500 人	+18.2%	33.7%	8,200 人	8,200 人	△15.5%	11.8%
韓国	47,200 人	47,200 人	+23.9%	33.5%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	16,900 人	16,900 人	△2.3%	12.0%	18,900 人	18,900 人	+136.3%	27.2%
香港	18,400 人	18,400 人	+10.8%	13.1%	100 人	100 人	△50.0%	0.1%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	+17.6%	1.4%	1,700 人	1,700 人	+240.0%	2.4%
タイ	2,600 人	2,600 人	△18.8%	1.8%	0 人	0 人	-	0.0%
シンガポール	1,500 人	1,500 人	+114.3%	1.1%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	4,800 人	4,800 人	+14.3%	3.4%	40,500 人	18,200 人	+125.0%	58.4%
合計	140,900 人	140,900 人	+15.5%	100.0%	69,400 人	47,100 人	+90.7%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

3月は、航空会社の先行割引航空券などの実績は良好であったものの、旅行会社の販売実績が前年同月に届かなかった等から、前年を下回った。

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社による離島直行便の予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

大阪

3月は、航空会社の先行割引航空券などの実績や旅行会社商品が春休み中心に良好であったこと等から、前年を上回った。

4月は、一般団体(企業周年関連、研修)旅行の先行受注が良好なこともあり、堅調に推移する見込み。

福岡

3月は、春休みによる旅行需要の高まりや、石垣直行便の通年運航開始など航空路線の拡充があったことから、前年並みであった。

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりや、航空会社の予約状況が良好なこともあり、好調に推移する見込み。

名古屋

3月は、春休みによる旅行需要の高まりや、宮古直行便の通年運航開始など航空路線の拡充があったものの旅行会社の販売実績が前年同月に届かなかった等から、前年を下回った。

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりや、旅行会社の宮古島商品の販売が良好なこともあり、堅調に推移する見込み。

台湾

3月は、航空会社による高雄-那覇路線の増便、台北-石垣路線の運行再開があったことやクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

4月は、麻しん(はしか)患者の発生に伴う影響が懸念されるものの、航空会社による増便や、高雄-那覇路線の初就航や琉球海炎祭による旅行需要の高まり等から、好調に推移する見込み。

韓国

3月は、手頃な価格や短い経由時間などを強みとしたおかげで合理的な消費を重視する若い旅行者に人気が高まっていることや航空路線の拡充やソウル-那覇便の大型化があったこと等により、前年を上回った。

4月は、前年同月に比べて航空路線の拡充が予定されていることから、空路を中心に好調に推移する見込み。

中国本土・北京

3月は、お花見の旅行商品等、多方面との競合が懸念されたものの、航空会社による西安-那覇路線の再開等により、前年を上回った。

4月は、清明節、労働節連休による旅行需要の高まりや、海開きのシーズンであること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

3月は、お花見の旅行商品等、多方面との競合が懸念されたものの、大型クルーズ船の寄港があったこと等から、前年を上回った。

4月は、清明節、労働節連休による旅行需要の高まりや、大型クルーズ船が寄港予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

3月は、イースター連休による旅行需要の高まりや航空会社による増便により前年を上回った。

4月は、前年同月に比べて航空路線の拡充が予定されているほか、イースター連休で旅行需要が高まることが期待されること等から、好調に推移する見込み。